

2023年10月1日
礼 拜

聖書

創世記45章1～15節

45:1 ヨセフは、そばに立っているすべての人の前で、自分を制することができなくなって、「皆を私のところから出しなさい」と叫んだ。ヨセフが兄弟たちに自分のことを明かしたとき、彼のそばに立っている者はだれもいなかった。

45:2 ヨセフは声をあげて泣いた。エジプト人はその声を聞き、ファラオの家の者もそれを聞いた。45:3 ヨセフは兄弟たちに言った。「私はヨセフです。父上はお元気ですか。」兄弟たちはヨセフを前にして、驚きのあまり、答えることができなかった。

45:4 ヨセフは兄弟たちに言った。「どうか私に近寄ってください。」彼らが近寄ると、ヨセフは言った。「私は、あなたがたがエジプトに売った弟のヨセフです。45:5 私をここに売ったことで、今、心を痛めたり自分を責めたりしないでください。神はあなたがたより先に私を遣わし、いのちを救うようにしてくださいました。45:6 というのは、この二年の間、国中に飢饉が起きていますが、まだあと五年は、耕すことも刈り入れることもないからです。

45:7 神が私をあなたがたより先にお遣わしになったのは、あなたがたのために残りの者をこの地に残し、また、大いなる救いによって、あなたがたを生き延びさせるためだったのです。

45:8 ですから、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、神なのです。神は私を、ファラオには父とし、その全家には主人とし、またエジプト全土の統治者とされました。

45:9 どうか、急いで父上のところに上って行き、言ってください。『息子のヨセフがこう言いました。「神は私をエジプト全土の主とされました。ためらうことなく私のところに下って来てください。

45:10 ゴシエンの地に住んで、私の近くにいてください。父上も、子と孫、羊と牛、また父上に属するすべてのものも。

45:11 飢饉はあと五年続きますから、父上も家族も、また父上に属するすべてのものも、困ることのないように、私が父上をそこで養いましょう』と。』

45:12 さあ、あなたがたも、弟のベニヤミンも、自分の目でしっかり見てください。あなたがたに話しているのは、この私の口です。

45:13 あなたがたは、エジプトでの私のすべての栄誉と、あなたがたが見た一切のことを父上に告げ、急いで父上をここに連れて来てください。」

45:14 彼は弟ベニヤミンの首を抱いて泣いた。ベニヤミンも彼の首を抱いて泣いた。

45:15 彼はまた、兄弟みなに口づけし、彼らを抱いて泣いた。それから兄弟たちは彼と語り合った。

説教

「神が私を遣わされた」

45章になって兄弟たちと二度目の出会いか、3度目になるのか、この時ヨセフは自分を制することが出来ず、エジプトの側近を部屋からおいだして、兄弟たちだけになって、大声で泣き「私はヨセフです」「あなた方がエジプトに売った弟のヨセフです」「自分の目でしっかりと見てください。あなた方に話しているのはこの私の口です」

この時はエジプト語ではなくヘブル語で話したでしょう。
ここに来てやっと名乗っています。

押さええていたものが取り払われて、堰を切った様に45章ではヨセフが一人気持ちを抑えられず話しています。弟を売ったことで心を痛めたり、自分を責めないでください。神が私をここに遣わしたのです、と言うことばを三回も繰り返しています。

あなた方を飢饉から救うために神は先にこの地に私を遣わされたと繰り返し繰り返し兄たちに語っています。

兄たちは驚きの余り現実を受け入れることが出来ず、
殆どあっけにとられて、夢を見ているのか、キツネに包
まれているのか、話すのはヨセフの一人舞台です。

何故、やっと45章にまで来て、兄たちを赦し、受け入れて「私はヨセフです」とここで名乗る様になったのでしょうか。

44章のヨセフの最後の兄たちに課したテストを見て行きましょう。

43章で兄たちは弟のベニヤミンを連れて食料を求めて二度目のエジプト下りをします。

ヨセフは同じ母から生まれた弟、ベニヤミンと20年ぶりに再会しています。しかし、この時、ヨセフはまだヨセフですと名乗っていません。名乗る前、兄たちを赦す前に、赦せるか、赦していいか、最後のテストをしています。

私たちはイエス様を信じるだけで赦されます。

ヨハネの手紙第一 1章9節

「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。」

悔い改めて、信じて、救われます。

ヤコブの家はアブラハム、イサクと続いた信仰の家。
ヤコブもベテルで、又ヤボクの渡し場で神様から取り扱われて信仰を持っています。それでもヤコブは愛する妻ラケルの産んだ子を愛し、偏愛し、差別し、手放さないで、神様に委ねないでいます。

平等に愛を与えなければならぬのに与えないのはどんな罪でしょうか。

与えるものを与えないで私物化するのは盗みの罪でしょうか。貪欲の罪でしょうか。むさぼりの罪でしょうか。

兄弟たちもお互いに愛し合っていません。

弟のヨセフをエジプトに奴隷として売り飛ばしました。

殺人の罪でしょうか。

いなくなったヨセフを説明するために、ヤコブの偏愛の象徴であるヨセフの長服に山羊を殺してその血を浸して、父ヤコブに、この服が落ちていました、御確認ください、ヨセフは獣に殺されたと父ヤコブに思わせています。正直にエジプトに奴隷に売りました、と言っていない。偽りの罪、ウソの罪です。

食糧危機により、又ユダが保証人になりますとの説得で、父ヤコブは愛する子ベニヤミンを手放すこと、委ねる決心をしました。私たちには神様以上にしがみついているもの、こだわっているものがあります。神様を信じる事は、神様に人生を委ねること、任せる事であります。この時にいたってやっとヤコブは握り締めているものを手放して委ねる信仰に導かれました。私たちも大事にしている物を明け渡さなければならない時があります。信じる事は明け渡したときにも平安でいられる事です。

先日毎朝の聖書通読でハバクク書を読みました。

3:17 いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木には実りがなく、オリーブの木も実がなく、畑は食物を生み出さない。羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。3:18 しかし、私は【主】にあって喜び躍り、わが救いの神にあって楽しもう。3:19 私の主、【神】は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。

実を实らせる、牛、羊が沢山いる、
実のある人生、多くを所有する人生にこだわっていると、
それが与えられないとき、喜ぶことは出来ません。
私たちは結果、果実、成果を喜ぶのではなく、
私たちが愛し、いのちをお捨てになったイエス様を愛し、
喜ぶことでもあります。
主を喜ぶことは、私たちの力です、とネヘミヤは行っています。

ヤコブは神様からの取り扱い、訓練を受けて、
最愛のベニヤミンを神様に委ねることが出来ました。
愛する妻、愛する子、それに縛られていると言う偶像か
ら解放されて
真の礼拝者に導かれて行きました。

もう一つのテーマは、ヤコブの子供たちは、兄弟は愛し合っているか。ヨセフを奴隷としてエジプトに売り飛ばしてしまいました。それを真に悔い改めているのか。

20年の試練、飢饉の時の試練の中、神様からの訓練、取り扱いの中で、愛し合う兄弟に変えられて行ったのか、それに導き確認することがヨセフの最後の仕事でした。

弟を奴隷としてエジプトに売り飛ばす、愛の無い家庭、
彼らは変えられているのか。弟を売り飛ばした罪を悔い
改めているのか。

それを試すテストが44章に書かれています。

ヨセフ愛用の銀の杯をベニヤミンの袋に入れておくように
ヨセフは側近に命じました。側近はヨセフに命じられた通り
しました。

兄弟たちが穀物を買って、エジプトからカナンの地に旅
立ったとき、

44:4 彼らが町を出て、まだ遠くへ行かないうちに、ヨセフ
は家を管理する者に言った。「さあ、あの者たちの後を追え。
追いついたら、『なぜ、おまえたちは悪をもって善に報いるのか。
44:5 これは、私の主君が、飲んだり占いをしたりするときに、
いつも使っておられるものではないか。おまえたちのしたことは悪辣だ』と彼らに言うのだ。」

44:6 彼は追いついて、このことばを彼らに告げた。

お前たちの誰かがご主人様の銀の杯を盗んだ。
調べて見ると銀の杯はベニヤミンの袋の中から見つかった。
た。

一同は落胆して道を引き返して、ヨセフの前にひれ伏した。三度目の出合いです。

ヨセフは荒々しく言った。

盗んだ者だけがここエジプトに留まって奴隷となるのだ。
他の者はさっさと帰れ。

18節でユダが弁明、懇願しています。
ユダはヨセフの前で「私たちには、年老いた父と、年寄り子の末の弟がおります。彼の兄は死に、その母の子として彼だけが残されました。」と弁明しています。彼の兄ヨセフは死んだ、本当は私たちがエジプトに売り飛ばした。その後の消息はわかっていない、と言うべきですが、死んだ、いなくなったとウソを言わざるを得ない窮地です。

自分の罪と向かい合わなければなりません。

このままベニヤミンをここに置いて帰ったなら、あの子がいないのを父が見たら、父は死んでしまうでしょう。44:33 ですから、どうか今、このしもべを、あの子の代わりに、あなた様の奴隷としてとどめ、あの子を兄弟たちと一緒に帰らせてください。

かつては無慈悲にもヨセフを売り飛ばしましたが、飢饉、試練の中で自分の罪と向き合い、ベニヤミンの代わりに自分を奴隷にしてほしいと変えられています。

自分を捨ててもベニヤミンを父のところに換えそうとする必死のユダの執り成しに、ついにヨセフは真の兄弟愛を見て、自分を制することが出来なくなって、エジプト人の側近を部屋から追い出して、号泣。私はヨセフです。と叫んだ。

兄ユダはこころから兄弟を愛している、自分が犠牲
になってもベニヤミンを守ろうとしている、
ここにかつて弟を奴隷に売った罪を悔い改めて変え
られている証しを見て、ヨセフは兄たちを受け入れる
べき時と確信して、私はあなた方がエジプトに売った
弟ヨセフと名乗って和解をしています。

45:5 私をここに売ったことで、今、心を痛めたり自分を責めたりしないでください。神はあなたがたより先に私を遣わし、いのちを救うようにしてくださいました。

ヨセフは主権者なる神が私をエジプトに遣わした、と三度も繰り返しています。

ヨセフは神様の導きの中で、自分の傲慢、高ぶりを悔い改め、売り飛ばした兄たちを赦しています。

ヨセフは世界に襲い来る飢饉から民を、家族を救うために、夢を解く賜物が与えられ、不思議な道でエジプトの支配者となり、世界の人々を食料危機から救っています。

ヨセフの使命はそれだけではありませんでした。

食料危機だけでなく、愛の危機、赦しの欠乏、信仰の飢餓から神の家族ヤコブの家族を救い、癒やすために世界の食糧危機さえも用いています。

ヤコブの家族が愛と信仰に満ちた一家となるように、ヨセフは祈り、兄たちに様々なテストをして、赦し合う家族になっていきました。

コリント第二5:17

ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

5:18 これらのことはすべて、神から出ています。神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。

5:19 すなわち、神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました。

5:20 こういうわけで、神が私たちを通して勧めておられるのですから、私たちはキリストに代わる使節なのです。私たちはキリストに代わって願います。神と和解させていただきなさい。

5:21 神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方において神の義となるためです。

キリストだけでなく、パウロも、ヨセフも
和解の使節となっています。

「私たちはキリストに代わる使節なのです。私たちはキリストに代わって願います。神と和解させていただきなさい。」

ヨセフも奴隷生活、獄中生活と十字架、よみに下られた
イエス様の道を歩まれ、イエス様が復活されたように、牢
獄から解放され、エジプトの支配者となり、
世界を飢饉から救い出す器とされました。

救い主キリストのひな形です。

ヨセフの最大の仕事は食料を与えるだけではありません。
神様の前に悔い改めて、赦しをいただいて、
ヤコブの家族が愛の香りを放つ神の家族となる事でした。

今日も神の家族である教会が
赦し合い、受け入れ合い、こだわり、執着から解放され、自由にされて、神を礼拝する民となる事を願っておられます。

祈り。